

令和5年度 三次市立川地小学校だより



高こうし志

よく考える子
かかわりあう子
自ら行動する子

学校教育目標：ふるさとを愛し、夢の実現に向けて主体的に行動する児童の育成

「本物」と出会う意味

《No. 7》
令和5年10月6日

先月28・29日に、6年生は修学旅行に行きました。今回の旅行は山陰地方。島根県の「松江城」と「和鋼博物館」、鳥取県の「青山剛昌ふるさと館」、「円形劇場くらよしフィギュアミュージアム」、「鳥取砂丘」、「砂の美術館」を見学し、最後は岡山県の「ジョイフルパーク」で思いっきり楽しんできました。

6年生たちは事前に見学地についてグループ別にインターネット等を活用して調べ学習をし、お互い交流し合って修学旅行へ向けての気持ちを高め、本番を迎えていました。

出発式の際、6年生に対してこんな話をしました。

みなさんは、この修学旅行に向けてしっかり調べ学習をして準備を進めてきました。とても大切なことです。

これからの2日間は、「本物」との出会いとなります。実際に、見て、ふれて、話を聴いてください。本や写真で調べただけではわからないことも、「本物」を見ることでわかることもたくさんあります。

どんなことを学ぶことができるのか、楽しみにしています。



いろいろな見学地でたくさんのことを
学ぶことができました！



2日間の修学旅行を通して、帰りのバスの中で振り返りを行いました。6年生からは、次のような言葉が出ていました。

- 松江城の階段を上るのは大変だったけど、敵に攻められない工夫がたくさんあることを知ることができました。
- 砂の美術館では、砂の像のことを写真とかで調べていたけど、実際に本物を見て大きさや模様の細かさなどもわかってびっくりしました。
- ガイドさんがとてもいねいに説明をしてくださったおかげで、とてもわかりやすくてくさんのことを知ることができました。
- 私たちが気持ちよく過ごせるようにと、ホテルの方がいろいろな準備をしてくださったり、おいしいご飯を作ってくださったりして、うれしかったです。
- 普段なかなか「ありがとう」という言葉を言うことができなかったのですが、修学旅行を通して心から「ありがとうございました」と言えるようになりました。

見学地から学んだことはもちろんのこと、私たちに関わってくださった方々への感謝の思いもしっかりと持つことができました。

「本物」との出会いを通して、6年生たちは一段と成長することができたようです。

表現力を鍛える場として…



10月29日(日)には、学習発表会を予定しています。今、学校では、合奏の練習でいろいろな楽器の音が出ていたり、劇や音読のセリフの音が大きく響いたり、これまで学んだことをまとめていたり、それぞれ本番に向けての準備が進んでいます。

私はこの学習発表会を、子どもたちの「表現力」を鍛える場と考えています。以前の学校だよりでも書かせていただきましたが、高校の先生方からも今の子どもたちに必要な力として「表現力」を挙げておられます。

学習発表会本番はもちろんですが、練習の過程でも相手(観客)を意識してどのような形で自分たちの思いを伝えていくのかを、しっかり考えさせ表現できるよう指導をしていきたいと思います。どんな発表になるか、楽しみにしててください。

今後の予定

10月

- 10月10日(火) アウトメディア週間(16日まで)
- 10月16日(月) イングリッシュキャンプ
- 10月17日(火) 川地中オープンスクール
- 10月18日(水) 授業研究(3年)
- 10月19日(木) ふれあい相談日
ぬくもりオレンジカフェ
- 10月20日(金) 集金日
- 10月24日(火) 学習発表会リハーサル
- 10月29日(日) 学習発表会
- 10月30日(月) 振替休業日

11月

- 11月 6日(月) PTA本部役員会
- 11月16日(木) 学区公開研究会(川地小)
ふれあい相談日
- 11月20日(月) 集金日

